



## 2026年9月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年5月15日

上場会社名 株式会社インタートレード 上場取引所 東  
 コード番号 3747 URL <https://www.itrade.co.jp/>  
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 西本 一也  
 問合せ先責任者（役職名） 業務執行役員（氏名） 小笠原 功二 (TEL) 03-4540-3002  
 半期報告書提出予定日 2026年5月15日 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2026年9月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年10月1日～2026年3月31日）

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年9月期中間期	868	0.7	0	△96.6	△95	—	124	—
2025年9月期中間期	862	△8.2	16	△74.0	△85	—	△39	—

(注) 包括利益 2026年9月期中間期 124百万円( —%) 2025年9月期中間期 △48百万円( —%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年9月期中間期	17.26	—
2025年9月期中間期	△5.53	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年9月期中間期	1,566	1,200	76.6
2025年9月期	1,481	1,076	72.6

(参考) 自己資本 2026年9月期中間期 1,200百万円 2025年9月期 1,076百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年9月期	—	0.00	—	—	—
2026年9月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2026年9月期の連結業績予想（2025年10月1日～2026年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,100	14.3	100	—	10	—	240	—	33.40

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2026年9月期中間期	7,444,800株	2025年9月期	7,444,800株
2026年9月期中間期	259,250株	2025年9月期	259,250株
2026年9月期中間期	7,185,550株	2025年9月期中間期	7,185,597株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (中間期)

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、第2四半期 (中間期) 決算短信 (添付資料) 4 ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) キャッシュ・フローの状況	4
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 中間連結貸借対照表	5
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	7
中間連結損益計算書	7
中間連結包括利益計算書	8
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	10

## 1. 当中間決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当社グループの事業セグメントは、証券ディーリングシステム、外国為替証拠金取引システム、暗号資産プラットフォーム等の開発及び保守を中心とする「金融ソリューション事業」、ITサポート及びグループ経営管理ソリューションシステムの開発及び販売を中心とする「ビジネスソリューション事業」及び機能性食材であるハナビラタケの健康食品や化粧品等の開発及び販売を行う「ヘルスケア事業」の3つです。

当中間連結会計期間(以下、「当中間期」)の当社グループの連結経営成績は次の表のとおりです。

	2025年9月期 (前中間期)		2026年9月期 (当中間期)		対前年同期比 (%)
	金額 (百万円)	百分比 (%)	金額 (百万円)	百分比 (%)	
売上高	862	100.0	868	100.0	100.7
金融ソリューション事業	682	79.0	694	79.9	101.8
ビジネスソリューション事業	125	14.6	118	13.7	94.7
ヘルスケア事業	55	6.4	55	6.4	100.8
営業利益	16	—	0	—	3.4
親会社株主に帰属する中間純利益又は 親会社株主に帰属する中間純損失(△)	△39	—	124	—	—

(注) 各事業の売上高は、セグメント間の内部取引を含んでいません。

当中間期の業績は、連結売上高は前年同期比6百万円増加し868百万円となりました。また損益面では、営業利益は前年同期比15百万円減少し0百万円、親会社株主に帰属する中間純利益は、持分法適用会社である株式会社デジタルアセットマーケット(以下、デジタルアセットマーケット)及び株式会社A n d G o(以下、A n d G o)の持分法による投資損失95百万円を計上した一方で、デジタルアセットマーケットの増資に伴う持分変動利益を230百万円計上したことにより、124百万円となりました。

セグメント別の概況は以下のとおりです。

なお、各事業の売上高は、セグメント間の内部取引を含んでいません。

## (金融ソリューション事業)

金融ソリューション事業は、当社、デジタルアセットマーケット及びA n d G oの事業です。

当中間期の経営成績は次のとおりです。

売上高	694百万円(前年同期比 101.8%)
セグメント利益	196百万円(前年同期比 88.0%)

前年同期と比べ、東京証券取引所でarrowhead4.0が運用を開始したことに伴うエンハンス対応の反動による売上の減少があったものの、受託開発案件等の売上が増加したため、売上高は前年同期比101.8%の694百万円、セグメント利益は、研究開発費の増加等の影響により前年同期比88.0%の196百万円となりました。

2025年3月にFireblocks社とWEB3インフラ導入支援に関する戦略的パートナーシップを締結し、デジタルアセットマーケットと連携して、WEB3領域に対し経営資源の一部を適切に配分し、取り組みを強化しております。さらに同年4月には新たにA n d G oをグループ化したことにより、暗号資産向けソリューションや暗号分散技術を活用したサービスの共同開発を強化し、WEB3領域において新たな金融ソリューションサービスの展開を図るとともに、より高付加価値なソリューションの提供を推進しております。

## (ビジネスソリューション事業)

ビジネスソリューション事業は、当社及び株式会社ビーエス・ジェイの事業です。

当中間期の経営成績は次のとおりです。

売上高	118百万円(前年同期比94.7%)
セグメント損失	6百万円(前年同期は21百万円のセグメント損失)

前年同期と比べ常駐支援サービスでの増収があったものの、主力である経営統合管理プラットフォーム『GroupMAN@IT e2』において、受託開発案件及びライセンス利用料において減収があったことにより、売上高は前年同期比94.7%の118百万円となりました。損益面では人件費の減少等の影響により、セグメント損失は6百万円となり前年同期のセグメント損失21百万円より改善しました。

## (ヘルスケア事業)

ヘルスケア事業は当社及び株式会社インタートレードヘルスケアの事業です。

当中間期の経営成績は次のとおりです。

売上高	55百万円(前年同期比100.8%)
セグメント損失	25百万円(前年同期は24百万円のセグメント損失)

『ITはなびらたけ』製品の販売が計画より遅れていることにより、売上高はほぼ横ばいとなり前年同期比100.8%の55百万円となりました。損益面では、セグメント損失は25百万円となり前年同期のセグメント損失24百万円より若干悪化しました。

『ITはなびらたけ』の機能性を明記した新商品である「エストロリッチ ピュア」を展開し、事業の拡大を図ってまいります。

## (2) 財政状態に関する説明

当中間期末の総資産額(負債純資産合計)は、前連結会計年度末に比べ84百万円増加し、1,566百万円となりました。自己資本比率は76.6%、当座比率(当座資産÷流動負債、短期的安全性の指標)は311.9%となっております。

## (資産)

資産合計1,566百万円のうち、現金及び預金が691百万円(構成比44.1%)を占めています。

その他の主な資産は、受取手形、売掛金及び契約資産198百万円(構成比12.7%)、棚卸資産(商品及び製品、仕掛品、原材料及び貯蔵品)50百万円(構成比3.2%)、投資有価証券403百万円(構成比25.8%)となっております。

前連結会計年度末の資産合計1,481百万円より84百万円増加しており、その主な増減要因は、現金及び預金が20百万円、受取手形、売掛金及び契約資産が63百万円減少したものの、仕掛品が30百万円、投資有価証券が142百万円増加していることによるものです。

## (負債)

負債合計366百万円のうち、短期借入金、1年内返済予定の長期借入金及び長期借入金の合計が206百万円(負債純資産合計に対する構成比13.2%)となっております。

前連結会計年度末の負債合計405百万円より39百万円減少しており、その主な増減要因は、買掛金が18百万円、長期借入金が20百万円減少していることによるものです。

## (純資産)

純資産合計1,200百万円の主な内訳は、資本金1,478百万円、資本剰余金996百万円、利益剰余金△1,179百万円、自己株式△95百万円となっております。前連結会計年度末の純資産合計1,076百万円より124百万円増加しており、その主な増減要因は、親会社株主に帰属する中間純利益を計上したことによる利益剰余金の増加124百万円によるものです。

### (3) キャッシュ・フローの状況

当中間期における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ20百万円減少し、691百万円となりました。

各活動におけるキャッシュ・フローの状況は、次のとおりです。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは3百万円の収入(前年同期は20百万円の収入)となりました。

主な増加要因は、税金等調整前中間純利益134百万円、持分法による投資損失95百万円、売上債権の減少額63百万円等であり、主な減少要因は、仕入債務の減少額19百万円、棚卸資産の増加額28百万円、持分変動利益230百万円などです。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、2百万円の支出(前年同期は202百万円の支出)となりました。

主な減少要因は、長期前払費用の取得による支出1百万円によるものです。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、21百万円の支出(前年同期は24百万円の支出)となりました。

主な減少要因は、長期借入金の返済による支出20百万円、リース債務の返済による支出1百万円などです。

### (4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2025年11月25日付公表「当社持分法適用会社の出資受け入れに伴う特別利益(持分変動利益)の計上見込み並びに業績予想の修正に関するお知らせ」の予想数値に変更ありません。また、今後の動向を踏まえ、修正が必要と判断された場合は速やかに公表いたします。なお、業績予想数値は現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって記載の業績数値と異なる可能性があります。

## 2. 中間連結財務諸表及び主な注記

## (1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当中間連結会計期間 (2026年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	711,547	691,406
受取手形、売掛金及び契約資産	261,667	198,522
商品及び製品	10,575	8,089
仕掛品	4,033	34,626
原材料及び貯蔵品	7,360	7,330
その他	66,017	67,105
貸倒引当金	△246	△246
流動資産合計	1,060,955	1,006,834
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	10,038	9,349
工具、器具及び備品(純額)	17,215	18,031
リース資産(純額)	3,883	2,361
有形固定資産合計	31,137	29,742
無形固定資産		
ソフトウェア	1,955	1,677
その他	364	364
無形固定資産合計	2,320	2,042
投資その他の資産		
投資有価証券	261,149	403,649
繰延税金資産	2,398	-
敷金及び保証金	122,302	122,302
その他	13,384	13,982
貸倒引当金	△11,851	△11,851
投資その他の資産合計	387,382	528,082
固定資産合計	420,840	559,866
資産合計	1,481,796	1,566,701

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当中間連結会計期間 (2026年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	81,213	63,085
短期借入金	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	40,032	40,032
リース債務	3,038	2,685
未払法人税等	8,678	17,940
契約負債	14,620	14,518
その他	55,514	47,039
流動負債合計	303,095	285,301
固定負債		
長期借入金	86,536	66,520
リース債務	1,581	227
退職給付に係る負債	14,465	14,527
固定負債合計	102,582	81,274
負債合計	405,678	366,575
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,478,433	1,478,433
資本剰余金	996,567	996,567
利益剰余金	△1,303,828	△1,179,820
自己株式	△95,054	△95,054
株主資本合計	1,076,118	1,200,125
純資産合計	1,076,118	1,200,125
負債純資産合計	1,481,796	1,566,701

## (2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

## 中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年3月31日)
売上高	862,797	868,821
売上原価	574,434	570,917
売上総利益	288,362	297,904
販売費及び一般管理費	272,345	297,367
営業利益	16,017	536
営業外収益		
受取利息	508	727
為替差益	-	0
雑収入	307	242
営業外収益合計	816	970
営業外費用		
支払利息	1,472	1,512
持分法による投資損失	100,815	95,447
その他	0	15
営業外費用合計	102,287	96,975
経常損失(△)	△85,454	△95,468
特別利益		
持分変動利益	47,636	230,114
特別利益合計	47,636	230,114
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失(△)	△37,817	134,645
法人税、住民税及び事業税	10,448	8,239
法人税等調整額	522	2,398
法人税等合計	10,971	10,638
中間純利益又は中間純損失(△)	△48,789	124,007
非支配株主に帰属する中間純損失(△)	△9,033	-
親会社株主に帰属する中間純利益又は親会社株主に帰属する中間純損失(△)	△39,755	124,007

## 中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年3月31日)
中間純利益又は中間純損失(△)	△48,789	124,007
中間包括利益	△48,789	124,007
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	△39,755	124,007
非支配株主に係る中間包括利益	△9,033	-

## (3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失(△)	△37,817	134,645
減価償却費	8,064	5,416
ソフトウェア償却費	638	661
その他の償却額	928	572
受注損失引当金の増減額(△は減少)	△1,000	-
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	4,736	61
受取利息及び受取配当金	△508	△727
支払利息	1,472	1,512
持分変動損益(△は益)	△47,636	△230,114
持分法による投資損益(△は益)	100,815	95,447
売上債権の増減額(△は増加)	25,142	63,145
棚卸資産の増減額(△は増加)	△36,817	△28,077
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△2,666	△1,063
仕入債務の増減額(△は減少)	1,509	△19,501
未払金の増減額(△は減少)	△4,486	1,460
未払法人税等(外形標準課税)の増減額(△は減少)	1,120	260
未払消費税等の増減額(△は減少)	2,766	△7,769
その他の流動負債の増減額(△は減少)	5,425	△4,392
その他	△1,705	△7,833
小計	19,980	3,706
利息及び配当金の受取額	876	727
利息の支払額	△1,526	△1,538
法人税等の支払額	△2,546	△1,273
法人税等の還付額	3,375	2,035
営業活動によるキャッシュ・フロー	20,158	3,657
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△2,484	△523
無形固定資産の取得による支出	△889	△383
短期貸付金の増減額(△は増加)	100,000	-
長期前払費用の取得による支出	-	△1,170
関係会社株式の取得による支出	△299,040	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	△202,414	△2,077
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△20,016	△20,016
リース債務の返済による支出	△4,059	△1,705
自己株式の取得による支出	△14	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	△24,090	△21,721
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△206,346	△20,141
現金及び現金同等物の期首残高	1,024,922	711,547
現金及び現金同等物の中間期末残高	818,576	691,406

## (4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前中間連結会計期間(自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	中間連結 損益計算書 計上額 (注)2
	金融ソリューション事業	ビジネスソリューション事業	ヘルスケア事業			
売上高						
外部顧客への売上高	682,019	125,383	55,394	862,797	—	862,797
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	12	12	△12	—
計	682,019	125,383	55,407	862,810	△12	862,797
セグメント利益又は損失 (△)	223,767	△21,485	△24,433	177,848	△161,830	16,017

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△161,830千円は、主として各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に当社の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当中間連結会計期間(自 2025年10月1日 至 2026年3月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	中間連結 損益計算書 計上額 (注)2
	金融ソリューション事業	ビジネスソリューション事業	ヘルスケア事業			
売上高						
外部顧客への売上高	694,164	118,792	55,865	868,821	—	868,821
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	173	173	△173	—
計	694,164	118,792	56,038	868,995	△173	868,821
セグメント利益又は損失 (△)	196,897	△6,525	△25,418	164,953	△164,416	536

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△164,416千円は、主として各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に当社の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。